

# 道徳授業に生かす 7つの指導方法の創意工夫 〈整理版〉

※ 参考：「学習指導要領解説・道徳編」（文部科学省）小学校編 P.87～89の7つにもとづき整理。

7つの工夫	工夫の着眼点・工夫の具体例	留意したいこと
<b>1 資料提示</b> ○子どもを資料と 出合わせ、想像 や共感をかき立 て、問題意識を もたせたりする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型絵や紙芝居</li> <li>・黒板を舞台のようにして提示する方法</li> <li>・視聴覚機器の活用</li> <li>・教師などの演示や演技による提示</li> <li>・地域講師等の語り聞かせ</li> <li>・テレビや電子黒板を生かす方法</li> <li>・パネルシアター</li> <li>・実物や写真の提示</li> <li>など</li> </ul>	◇資料の世界の視聴に傾注できる配慮をする ◇情報過多にせず、選り抜かれた情報で想像を膨らませることも大切にする
<b>2 発問</b> ○子どもの心を動か かし、多様な考 えを引き出し、 思考を深める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものこだわりや問題意識が生かされ、生み出される発問</li> <li>・自由度があり、個性的な考えが出される発問</li> <li>・考える必然性や切実感があり、心が揺さぶられる発問</li> <li>など</li> </ul>	◇細かな発問は授業を引きずる不安が強い ◇重要な発問に絞ることで、多様な考えが引き出される
<b>3 話し合い</b> ○子ども相互に多 様な考えを学び 合い、深め合い 切磋琢磨する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えの立場や気持ちなどの類別や心情図、グラフなどでの視覚化</li> <li>・意図的指名</li> <li>・ペア、小グループ討議などの集団の工夫</li> <li>・パネル討議、ディベート形式の形態</li> <li>など</li> </ul>	◇教師と子どもの閉じられた受け答えではなく相互作用を促し、聞き合いや議論が生まれるように配慮する
<b>4 書く活動</b> ○個別化の中で個 性的な考えが深 められる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吹き出しを付けた形式</li> <li>・作業的、ゲーム的な内容を組み入れた形式</li> <li>・自己評価欄を置いた形式</li> <li>・絵や記号等がかく形式</li> <li>など</li> </ul>	◇書く回数を重要な箇所に絞り込み、記述内容を生かす工夫をする
<b>5 表現活動</b> ○一人一人の考え が内面から語ら れ、実感的に深 められるように する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役割演技…特定の役割をもって即興的演技から深める方法</li> <li>・劇化……せりふや演技や状況などの真似</li> <li>・動作化……動きを忠実に真似をして実感的な理解を深める方法</li> <li>・疑似体験…一定条件での追体験的活動</li> <li>など</li> </ul>	◇常に大がかりな場の設定が効果的だとも限らない ◇子どもの動作や表情が創造的に発揮される場の設定を工夫する
<b>6 板書</b> ○思考を深める共 通のノートとし て生かす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心部分を特にクローズアップした構成</li> <li>・意見の違いが類別化、類型化された構成</li> <li>・子どもが参画できる構成</li> <li>・黒板を舞台のようにした構成</li> <li>など</li> </ul>	◇順接的、時系列的な構成だけでなく、対比的、構造的な構成の工夫も大切にする
<b>7 説話</b> ○子どもに伝えたい ことを教師の 言葉で伝える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の話題や学級の出来事等を生かした内容</li> <li>・格言やエピソード、「心のノート」のメッセージなどを生かした内容</li> <li>・教師の忘れられない体験</li> <li>など</li> </ul>	◇教師の考え方を子どもに押し付ける構えではなく、願いとして語り伝える姿勢をもつ

## 7つの工夫（7つの引き出し）を開けるときに留意したいこと

- ① 「どんな工夫ができそうか？」……引き出しの中身を生かす可能性を多様に考えてみる。
- ② 「この授業ではどんな工夫に絞るか？」…多くの引き出しの中身から選り抜いて生かす。

不用意な「お膳立て」をしすぎない授業 ～ 子どもとつくる授業

※ 整理：東京学芸大学「総合的道徳教育プログラム」